

令和 8 年度入試 募集方法及び受験教科・科目等 令和 7 年度からの変更点

● 一般選抜

◆募集方法等

- 『人文社会科学部 言語文化学科』において、以下のとおり変更があります。

一般選抜		募集はありません。
人文社会科学部（昼間コース） 言語文化学科	後期	

- 『人文社会科学部 経済学科』において、以下のとおり変更があります。

一般選抜		募集はありません。
人文社会科学部（昼間コース） 経済学科	後期	

- 『教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育学専攻 社会科教育専修』において、以下のとおり変更があります。

一般選抜		募集はありません。
教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育学専攻 社会科教育専修	後期	

◆大学入学共通テストにおける利用教科・科目

- 変更はありません。

◆個別学力検査

- 変更はありません。

● 学校推薦型選抜

◆ 出願期間

○ 『人文社会科学部』の学校推薦型選抜において、下記のとおり変更があります。（2024. 11. 08追加）

学校推薦型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
人文社会科学部 (昼間コース) (夜間コース) 全学科	令和7年1月27日（月） から 令和7年1月31日（金）まで	令和7年11月上旬（予定）

◆ 選抜期日

○ 『人文社会科学部』の学校推薦型選抜において、下記のとおり変更があります。（2024. 11. 08追加）

学校推薦型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
人文社会科学部 (昼間コース) (夜間コース) 全学科	令和7年2月8日（土）	令和7年11月下旬（予定）

◆ 選抜方法等

○ 『人文社会科学部 社会学科』の学校推薦型選抜において、下記のとおり変更があります。
（2024. 11. 08追加）

学校推薦型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
人文社会科学部 (昼間コース) 社会学科	1 志願者全員に面接を課します。 面接時の資料としますので、以下の要領で作文を書いて、提出してください。 (1) 入学後のあなたの学修計画について1000字以上1200字以内で書いてください。 この作文は、他の出願書類と一緒に提出してください。 (2) 本学所定の下稿用紙（本学学部入試ウェブサイトに掲載：A 4 判縦書き600字詰原稿用紙（1/2, 2/2））を必ず使用してください。 (3) 手書き、ワープロ印字のいずれも可とします。また、作成した原稿のコピーを提出しても構いません。 (4) 原稿用紙（1/2）の1行目に自分で決めた<u>作文の題名</u>、2行目に<u>氏名</u>を書いてください。これらの字数も文字数に含めます。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	1 志願者全員に面接を課します。 ※面接時の参考資料として、試験当日に試験会場にて作文を書いてもらいます。要領は以下の通りです。 (1) 作文の内容は「入学後のあなたの学修計画について」です。 (2) 作文の題名は各自で付けてください。 (3) 作文は1000字以上1200字以内で書いてください。作文の題名と氏名を文字数に含めます。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。

- 『人文社会科学部 言語文化学科』の学校推薦型選抜において、下記のとおり変更があります。
(2024. 11. 08追加)

学校推薦型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
人文社会科学部 (昼間コース) 言語文化学科	1 志願者全員に面接を課します。 面接時の資料としますので、以下の要領で作文を書いて、提出してください。 (1) 言語や文学、文化に関し、最近考えたことについて、具体的な事例に触れながら1000字以上1200字以内で書いてください。 この作文は、他の出願書類と一緒に提出してください。 (2) 本学所定の原稿用紙（本学学部入試ウェブサイトに掲載：A 4判縦書き600字詰原稿用紙（1/2, 2/2））を必ず使用してください。 (3) 手書き、ワープロ印字のいずれも可とします。また、作成した原稿のコピーを提出しても構いません。 (4) 原稿用紙（1/2）の1行目に自分で決めた<u>作文の題名</u>、2行目に<u>氏名</u>を書いてください。これらの字数も文字数に含めます。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。	1 志願者全員に面接を課します。 ※面接時の参考資料として、試験当日に試験会場にて作文を書いてもらいます。要領は以下の通りです。 (1) 作文は、言語や文学、文化に関する内容を書いてもらいます。具体的なテーマは試験当日に発表します。 (2) 作文の題名は各自で付けてください。 (3) 作文は1000字以上1200字以内で書いてください。作文の題名と氏名を文字数に含めます。 2 大学入学共通テストの成績、面接の結果を総合して選抜します。

- 『人文社会科学部 経済学科』の学校推薦型選抜において、下記のとおり変更があります。

学校推薦型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
人文社会科学部 (昼間コース) 経済学科	1 志願者全員に経済・経営に関する資料（グラフ、表など）の読解、評価能力を問う試験を課します。 2 大学入学共通テストの成績、1の結果を総合して選抜します。	1 志願者全員に経済・経営を中心とした文章・資料等（グラフ・図表などを含む）の読解、評価能力を問う論述試験を課します。 2 大学入学共通テストの成績と1の結果を総合して選抜します。
人文社会科学部 (夜間主コース) 経済学科	1 志願者全員に小論文と面接を課します。 2 大学入学共通テストの成績と小論文、面接の結果を総合して選抜します。	1 志願者全員に経済・経営を中心とした文章・資料等（グラフ・図表などを含む）の読解、評価能力を問う論述試験を課します。 2 大学入学共通テストの成績と1の結果を総合して選抜します。

◆出願要件

- 『人文社会科学部 言語文化学科』において、以下のとおり変更があります。（2024. 11. 08追加）

学校推薦型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
人文社会科学部 (昼間コース) 言語文化学科	(1) 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人 (2) 言語文化学科の分野に強い学習意欲をもち、その分野の優れた能力、素質、適性をもつ人	(1) 高等学校における学習成績概評がB段階以上かつ国語及び外国語の学習成績の状況が4.0以上の人 (2) 言語文化学科の分野に強い学習意欲をもち、その分野の優れた能力、素質、適性をもつ人

- 『教育学部 学校教育教員養成課程 家庭科教育専修』において、以下のとおり変更があります。
(2024. 11. 08追加)

学校推薦型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育学専攻 家庭科教育専修	(1) 高等学校における学習成績概評がA段階以上の人 (2) 学校教育に熱意のある人で、家庭科教育専修に適性を有する人	(1) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の人 (2) 学校教育に熱意のある人で、家庭科教育専修に適性を有する人

● 総合型選抜

◆ 募集方法等

○『工学部 機械工学科』の総合型選抜において、下記のとおり変更があります。

総合型選抜		募集はありません。
工学部 機械工学科	全学科枠	

○『工学部 電気電子工学科』の総合型選抜において、下記のとおり変更があります。

総合型選抜		募集はありません。
工学部 電気電子工学科	全学科枠	

◆ 出願期間

○『人文社会科学部 経済学科』の総合型選抜において、下記のとおり変更があります。（2024. 11. 08追加）

総合型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
人文社会科学部 （昼間コース） 経済学科	令和6年9月2日（月） から 令和6年9月6日（金）まで	令和7年11月上旬（予定）

◆ 選抜期日

○『人文社会科学部 経済学科』の総合型選抜において、下記のとおり変更があります。（2024. 11. 08追加）

総合型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
人文社会科学部 （昼間コース） 経済学科	令和6年10月5日（土） 予備日：令和6年10月19日（土）	令和7年11月下旬（予定）

◆ 選抜方法等

○『人文社会科学部 経済学科』の総合型選抜において、下記のとおり変更があります。

総合型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
人文社会科学部 （昼間コース） 経済学科	1 聴講・論述試験 講義（45分程度）を聞いてその内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）してもらいます。 2 レポートに基づく面接 志願者は、以下の課題のいずれかを選択し、事前にレポート（所定の用紙）を提出してください。同レポートにもとづき質疑を行います。 課題：（略） 3 聴講・論述試験の成績と面接の結果を総合して選抜します。	1 志願者全員に経済・経営を中心とした文章・資料等（グラフ・図表などを含む）の読解，評価能力を問う論述試験を課します。 2 レポートに基づく面接 志願者は、以下の課題のいずれかを選択し、事前にレポート（所定の用紙）を提出してください。同レポートにもとづき質疑を行います。 課題：（略） 3 1 と 2 の結果を総合して選抜します。

○『農学部 生物資源科学科』の総合型選抜において、下記のとおり変更があります。

総合型選抜	令和 7 年度		令和 8 年度	
農学部 生物資源科学科	第一次選抜	1 基礎学力を問う試験 （「化学基礎」，「生物基礎」） 2 小論文	第一次選抜	基礎学力を問う試験 （「化学基礎」，「生物基礎」）
	第二次選抜	面接（小論文の内容に対する質疑応答を含む）を行います。	第二次選抜	面接（口頭試問を含む）を行います。

◆出願資格

○『人文社会科学部 経済学科』において、以下のとおり変更があります。

総合型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
人文社会科学部 (昼間コース) 経済学科 専門学科及び 総合学科枠	高等学校，中等教育学校を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人（高等専門学校第3年次を令和7年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で、次の条件を全て満たす人 ・商業に関する科目を20単位以上修得（見込みを含む）の人 ・学習成績概評がA段階以上の人 ・次の(ア)～(ウ)のうち2つ以上を取得している人 (ア)日商簿記2級以上または全商簿記1級（会計（商業簿記を含む）又は原価計算） (イ)英検準2級以上 (ウ)経済産業省基本情報技術者試験又は全商情報処理検定1級（ビジネス情報部門又はプログラミング部門）	高等学校，中等教育学校を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人（高等専門学校第3年次を令和8年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で、次の条件を全て満たす人 ・商業に関する科目のみで20単位以上修得（見込みを含む）の人、もしくは商業に関する科目と科目「産業社会と人間」を合わせて20単位以上修得（見込みを含む）の人 ・学習成績概評がA段階以上の人 ・次の(ア)～(ウ)のうち2つ以上を取得している人 (ア)日商簿記2級以上または全商簿記1級（会計（商業簿記を含む）又は原価計算） (イ)英検準2級以上 (ウ)経済産業省基本情報技術者試験又は全商情報処理検定1級（ビジネス情報部門又はプログラミング部門）

○『情報学部 情報科学科』において、以下のとおり変更があります。

総合型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
情報学部 情報科学科 専門学科及び 総合学科枠	高等学校，中等教育学校を令和7年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第3年次又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和7年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で、次の条件を満たす人 ・専門教育に関するいずれか一つの教科*の科目を合計20単位以上修得又は修得見込みの人 ※ 専門教育に関する教科の範囲は、情報、工業、商業及び農業、水産、家庭、看護、福祉、体育、音楽、美術、英語、理数とする。	高等学校，中等教育学校を令和8年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第3年次又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和8年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で、次の条件を満たす人 ・専門教育に関するいずれか1つの教科*の科目で合計20単位以上修得（見込みを含む）の人、もしくは専門教育に関するいずれか1つの教科*の科目と科目「産業社会と人間」を合わせて20単位以上修得（見込みを含む）の人 ※ 専門教育に関する教科の範囲は、情報、工業、商業及び農業、水産、家庭、看護、福祉、体育、音楽、美術、英語、理数とする。

○『グローバル共創科学部 グローバル共創科学科』において、以下のとおり変更があります。

総合型選抜	令和 7 年度	令和 8 年度
グローバル共創科学部 グローバル共創科学科 専門学科及び 総合学科枠	高等学校，中等教育学校を卒業又は令和7年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第3年次又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和7年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で、次の条件を全て満たす人 (1) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の人 (2) 専門教育に関するいずれか一つの教科*の科目を合計20単位以上修得又は修得見込みの人 ※ 専門教育に関する教科の範囲は、情報、工業、商業及び農業、水産、家庭、看護、福祉、体育、音楽、美術、英語、理数とする。 (3) 次の英語力試験のいずれかを満たしている人 ・日本英語検定協会実用英語技能検定（英検）準2級以上合格 ・TOEFL iBT Test® 40点以上 ・TOEIC® Listening and Reading Test 及びTOEIC® Speaking and Writing Tests 625点以上 (TOEIC S&W のスコアを2.5倍して TOEIC L&R に合算したスコアとする。)	高等学校，中等教育学校を卒業又は令和8年3月31日までに卒業見込みの人（特別支援学校の高等部，高等専門学校第3年次又は文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程を令和8年3月31日までに修了見込みの人を含む。）で、次の条件を全て満たす人 (1) 高等学校における調査書の全体の学習成績の状況（評定平均値）が3.8以上の人 (2) 専門教育に関する1つ以上の教科*の科目で合計20単位以上修得（見込みを含む）の人 ※ 専門教育に関する教科の範囲は、情報、工業、商業及び農業、水産、家庭、看護、福祉、体育、音楽、美術、英語、理数とする。 (3) 次の英語力試験のいずれかを満たしている人 ・日本英語検定協会実用英語技能検定（英検）準2級以上合格 ・TOEFL iBT Test® 40点以上 ・TOEIC® Listening and Reading Test 及びTOEIC® Speaking and Writing Tests 625点以上 (TOEIC S&W のスコアを2.5倍して TOEIC L&R に合算したスコアとする。)